

**上ノ国高校生徒が
キヌサヤエンドウ料理を考案！**



12月12日、上ノ国高校2年生19名が考案したキヌサヤエンドウ料理の試食会が同校で行われ、キヌサヤエンドウの生産者など9名が参加しました。

同校では、フードデザイン授業の一環で地元の特産品を使った調理実習が行われており、今回は、生徒が考えたキヌサヤエンドウ料理を生産者に食べてもらおうと企画されたものです。

この日提供されたのは、コロツケ、春巻き、ぎょうざ、タコス、ババロア、クッキーの6品で、いずれもキヌサヤエンドウを食材に使用し、実際に商品化ができるように食べやすさや製造コストなどが考えられています。試食した生産者からは「発想が素晴らしく、キヌサヤエンドウの風味がとても感じられた」と感心した様子で話していました。

この取り組みを通じて、新たな特産品の活用方法が生まれることを期待しています。

いきいきした歌や踊りを披露

12月13日、老人クラブ連合会(三浦安則会長)主催の「高齢者いきいき芸能発表会」がジョイ・じよぐらで開催され、約200人が訪れました。

高齢者の交流と親睦を目的に毎年行われているこの発表会には、各地区の老人クラブから69人が出演し、歌や踊りを披露。この日のために練習を重ねてきたそうので、舞台上では、いきいきした姿で会場を盛り上げ、来場者から大きな拍手が送られていました。

また、アトラクションとして、上ノ国保育所の園児が出演し、可愛らしい踊りを披露すると、会場全体が癒やされました。



**地域のみなさんに感謝の気持ちを伝える
滝子感謝祭を行う**



12月2日、地域住民に学校行事への協力で感謝の思いを伝えようと「滝子感謝祭」が滝沢小学校で行われ、20名ほどの地域住民が参加しました。

このイベントは、近年、同校では児童数減少のため運動会や学習発表会を地域の協力を得て開催していることから、そのお礼として地域住民を招いて行われたもので、この日は児童がホスト役となり、児童が考えたゲームや手作りのクッキーなどでもてなしました。訪れた地域住民は心がこもった歓迎にみな笑顔が浮かべていました。

また、終了後には、滝沢地区生涯学習推進会議などの協力のもと「餅つき集会」が開催され、児童と地域の人と一緒に餅つきを行いました。餅つきができた餅はきなこ餅などにして、参加者全員で頬張っていました。

**上ノ国もんじゅの
駐車場が拡張される**

9月下旬から行われていた道の駅「上ノ国もんじゅ」駐車場拡張工事が12月20日に完成しました。

この工事は、昨年全面改修された道の駅や24時間トイレに加え、新たに駐車スペースを大幅に拡充したもので、これまでイベント開催時などに駐車スペース不足が課題となっていました。

この工事では、東側の緑地エリアに新たに約120台分の駐車スペースを設けたほか、通路の一部も改修され、安全かつ利用しやすい道の駅となりました。

これにより、イベント開催時や大型連休の際には、多くの皆様に訪れていただけるものと期待されます。

